

第2回 斐伊地域防災訓練

住民630人参加

8月31日(日)斐伊地区(木次町)において、「第2回斐伊地域防災訓練」が行われました。この訓練は昨年到现在2回目で、大雨による洪水や土砂災害を想定し、斐伊地域づくり協議会が市と連携を図り対策本部を設置するとともに、地区民は自治会長を中心に隣保の安否を確認して、避難所(斐伊体育館、集会所)へ避難されました。斐伊地区はこれまで幾度となく浸水被害に遭ってきた地域で、今回の訓練により初動体制の確立や避難を迅速に行うこと、また安否確認の情報伝達などを確認され、万一来ました。



防火クラブ紹介

亀高町防火クラブ(奥出雲町)



会長
枝木 暉彦さん

私たち亀高町防火クラブは、戸数59戸、人口約200人、高齢化の進む小さな自治会で、全員参加の防火クラブです。

これまで地元消防団の協力をいただきながら、消火器を使っての消火訓練、消火栓を使用する放水訓練などを行い、会員一人ひとりの防火意識を高めてきました。

また、年1回自治会内に設置された消火器、消火栓、消火ホース、各家庭の消火器などの点検確認、春秋の火災予防週間には防火旗を立て、地域の人たちへの防火意識の高揚啓発につとめ、また定期的に用水路、取水口の清掃、整備等を行い万一の備えとするなど、常に防火防災の意識を強く持ち、自分たちの地域を守っていきたく、自治会全員防火クラブ員として頑張っています。

平成23年5月末までの住宅用火災警報器設置について、私たちの地区の取り組みはこれからのとなりますが、昨年独居老人宅6戸への設置を行いました。

今年は、この事について、消防署の指導を得ながら、地区全体で取り組みたいと考えています。

ホームページ開設!! たくさんのアクセスをおまちしています。

<http://user.kkm.ne.jp/unnan-fd>

BFG 第21回

少年消防クラブ員研修会



第21回少年消防クラブ員研修会を、7月24日(木)管内各小学校から168名(4年生以上)の参加を得て開催しました。

研修内容は、消火栓を使用する放水体験や救急法、地震車による地震体験、煙体験、水消火器を使用した消火訓練、水バケツリレーによる消火競争などの他、昼食用のカレーライス作りにも挑戦しました。

参加したクラブ員は、他の小学校のクラブ員や消防職員と楽しく過ごし、消防への関心を深めるとともに、「あいさつの大切さ」、「命の大切さ」、「友達のすばらしさ」、「チームワークの大切さ」、「助け合うこと」を学び、午後4時過ぎには修了証と参加記念品を手に消防署を後にしました。

救急の日テント村を開設



9月7日(日)「救急の日テント村」を掛合道の駅で開設し、心肺蘇生法の実技指導、血圧・体脂肪率測定コーナー、高規格救急車の展示、ちらし配布などを行いました。

この行事は、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間を「救急医療週間」と定められ、全国一斉に救急医療及び救急業務への理解を深めていただくために実施しました。

管内では年々救急車の出場が増加し、昨年は2,037回出場し1,997人を搬送しました。このうち60歳以上の人が7割近くを占めています。

救急車が到着するまでの応急手当が今後一層重要になるため、応急手当の講習を受けましょう。

桜ヶ台保育所幼年消防クラブが和太鼓の寄贈を受けました

(財)日本防火協会では、幼児期からの防火思想の普及啓発を目的に、全国の幼年消防クラブへ活動器材を助成しており、今年度は、飯南町立桜ヶ台保育所幼年消防クラブ(会長 吾郷須摩子所長、クラブ員48名)が選ばれ、和太鼓の寄贈を受けられました。

これにより、クラブ員は、防火について関心を持つとともに、定期演奏会、地域のお祭り、祖父母参観などで、和太鼓を演奏し、広く地域みなさんに火災予防を呼びかけていきます。

